

科目名	建築計画Ⅱ	英語科目名	Architectural Planning Ⅱ
開講年度・学期	平成22年度・前期	対象学科・専攻・学年	建築学科4年
授業形態	講義	必修 or 選択	必修
単位数	2単位	単位種類	学修単位(15+30)h
担当教員	瀧澤雄三	居室(もしくは所属)	建築学科棟3階
電話	0285-20-2830	E-mail	takizawa@oyama-ct.ac.jp
授業の達成目標			
1. 建築種別に計画上の一般的ルールや留意点等の基本的事項を説明できる。			
2. 建築種別に必要な空間機能を説明できる。			
3. 建築計画や各種建築物の計画関連用語等を理解し、説明できる。			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
達成目標1～3は、中間試験と期末試験の成績で評価するとともに、課題に対する提出レポートの内容を設定水準で評価し、試験の評価とレポートの評価を合わせて60%以上のものを達成とする。			
評価方法			
評価は以下の2項目の加重平均によって行う。			
1. 中間試験、期末試験(80%)			
2. 課題の回答内容(20%)			
授業内容	授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間
1. 博物館	1. 博物館		4
(1) 博物館の目的・種類・組織(1週)	(1)博物館の目的と種類を調べる		
(2) 博物館の空間機能・動線計画(1週)	(2) 博物館の諸室と巡回形式に関する課題		4
(3) 展示室、その他諸室の空間計画(1週)	(3) 展示システム等に関する課題		4
2. 学校教育施設	2. 学校教育施設		4
(1) 教育施設の種類・教育制度(1週)	(1) 教育施設の種類と教育制度に関する課題		
(2) 幼稚園と保育所(1週)	(2) 幼稚園と保育所の違いに関する課題		4
(3) 学校のプランと運営方式(1週)	(3) 学校のプランと運営方式に関する課題		4
(4) 近年の動向(1週)	(4) 教育の新しい動きに関する課題 *「図書館巡り」の課題		4
テスト(1週)	博物館、図書館の復習		4
3. 図書館	3. 図書館		4
(1) 図書館の変遷及び図書館の種類(1週)	(1) 図書館の種類等に関する課題		
(2) 図書館関連用語及び図書館の奉仕活動(1週)	(2) 図書館関連用語に関する課題		4
(3) 図書館の出納システム(1週)	(3) 図書館の出納システムに関する課題		4
4. 医療施設	4. 医療施設		4
(1) 我が国の医療制度及び病院の空間構成(1週)	(1) 病院の構成と病院関連用語に関する課題		
(2) 看護単位とその諸室の計画(1週)	(2) 看護単位に関する課題		4
(3) 病棟部の計画(1週)	(3) 病室に関する課題		4
(4) 外来診療部、中央診療部の計画(1週)	(4) 診察室・検査・手術部に関する課題		4
【期末試験】			
自学自習時間合計			60
キーワード	建築物、空間機能、空間計画、設計条件、用語		
教科書	特になし。必要に応じ随時プリント等を配布。		
参考書	各種建築雑誌(新建築等々)、建築設計資料集成(日本建築学会)等々。		
小山高専の教育方針①～⑥との対応	③		
技術者教育プログラムの学習・教育目標			
(A-1)科学や工学の基本的知識を身につける			
JABEE 基準1の(1)との関係	d(2-a)		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	建築計画Ⅰ、インテリアデザイン、		
現学年の関連科目	建築設計Ⅱ		
次年度以降の関連科目	空間計画原論、建築計画Ⅲ、都市・地区計画、現代建築論		
連絡事項			
1. 毎回出す課題は必ず調べ、レポートとして提出すること。			
2. 予習:この毎回出される課題をやってこない講義について行けないので、必ず課題をやって講義に臨むこと。			
3. 予習:講義対象施設をあらかじめ見学しておくこと。時間的に対応できない場合は、最低限、建築雑誌等で類似施設をみておくこと。			
4. 授業:授業は建物種別に、計画にあたっての考え方、留意点、あるいは今後の課題等について解説していく。また、随時関連施設の実例をスライド等で紹介する。			
5. 復習:必ず当日の講義を見直し、分からないところや更に詳しく知りたい点等を整理し、自分で文献等を調べるなり教員に質問するなりすること。			
6. 百聞は一見にしかずということもあり、機会を見つけてなるべく多くの、いろいろな機能の地域施設の見学を心がけることを切望する			
シラバス作成年月日	平成22年2月22日		